

今、大山を超えよ

～難関を突破し、福を掴め～

浦和南高等学校進路支援部
令和5年度進路通信
第9号
2024年2月19日

〈進路支援部主任より〉

先月1月13日(土)・14日(日)に、大学入学共通テストが行われました。本校でも、3年次生のほとんどが受験しています。3年次のみなさんは、これからも、感染対策・体調管理に気をつけながら、**最後まであきらめず、今まで努力してきたことを信じて、前向きに粘り強く頑張ってください。吉報を待っています!** また、これからの進路や入試等で、困っていることや、悩みがあれば、ぜひ、先生方に相談してください。今後、3月下旬まで、補欠合格・繰り上げ合格の連絡が大学から来る場合もありますので、大学からの連絡には注意しておきましょう。

さて、1・2年次のみなさんは、共通テストの問題を解いてみたでしょうか。習った範囲の問題は解けますし、限られた試験時間の中で解かなくてはならない問題の分量や特徴も分かると思います。

右の表は、今回の共通テストの本校生徒の最高点です。

このように、3年間努力し、その成果を発揮した先輩たちがいます。同じ南高生ですから、先輩の頑張った後姿を励みに、みなさんも続けていきましょう!

さあ、次はいよいよ2年次生の番です。

今の学習状況はどうでしょうか。文武自考で、学習と部活動の両輪をきちんと回しているでしょうか。

また、2月に初めての共通テスト模試も受験しました。

1月の模試も合わせて、身につけている力の確認と、足りなかったところ、これからの自分の課題が見えてきたでしょうか?

1年後、1月下旬から3月まで、共通テスト後は、国公立の個別試験、私立大学の一般選抜が行われます。志望校合格のためには、今からの積み重ねが欠かせません。**そして日々の学習に主体的に取り組むことが重要**です。授業で学んだこと(インプット)を使いこなすための自分のトレーニング(アウトプット)をしていきましょう。「**解答を見ないで問題が解ける**」、「**誰かに説明できる**」等になれば身についたこととなります。

1年次のみなさんも入学してもうすぐ1年ですね。高校の学習スタイル、学習習慣は確立できたでしょうか?

2月27日で考査前の授業は終わり、年度末考査が2月28日から行われます。3月下旬には1年間の学習のスケジュール・定着度を確認するためのスタディーサポートがあります。まずは、年度末考査に全力で臨み、次年度の授業が始まる4月までの期間、1年間・2年間の総復習・総点検をして、スケジュールをなくしていきましょう。弱点をそのままにしては、学力向上はできません。それが、新2年、新3年に向けてのよい準備となります。新年度に、よいスタートを切るためにも、時間を無駄にせず、有意義に過ごし、土台固めの期間として活用してください。(福田)

教科	科目名	最高点	教科	科目名	最高点
国語	現代文(100)	95	数学①	数学Ⅰ・A	95
	古文(50)	50	数学②	数学Ⅱ・B	97
	漢文(50)	50	理科	化学基礎(50)	43
	現古漢計(200)	177		生物基礎(50)	44
地歴	世界史B	100		地学基礎(50)	50
	日本史B	79		物理	85
	地理B	77	化学	98	
公民	現代社会	81	生物	71	
	倫理	55	英語	リーディング	90
	政治経済	64	リスニング	100	
	倫理、政治・経済	74	文(5-8)	673	
			理(5-7)	787	



2024年  2月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2 ②河合 共テ模試	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 土曜授業
18	19	20	21 臨時休業	22 臨時休業	23	24
25	26 臨時休業	27	28 年度末 考查①	29 臨時休業	1	2
3						



2024年  3月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	1 年度末 考查②	2
3	4 年度末 考查③	5 年度末 考查④	6 予餞会	7 特編授業	8 卒業式	9
10	11 特編授業	12 特編授業	13 特編授業	14 球技大会①	15 球技大会②	16
17	18 球技大会③	19 スタサポ	20	21 スタサポ	22 修了式	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



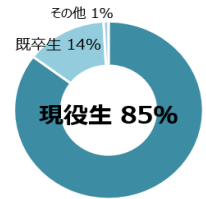
大学入試共通テスト 2025. 1.18(土)~1.19(日)まで
あと 333 日 (2月 19 日時点)



2024年 共通テスト特集!

河合塾 Kei-Net より一部抜粋

1月13(土), 14(日)に行われた2024年度共通テストの志願者数は、491,914人で前年から2万人減少したようです。ちなみに浦和南高校の3年生はほとんどの生徒が出願・受験しました。志願者数が50万人を割り込んだのは1992年の大学入試センター試験以来、32年ぶりとのこと。志願者数の減少は18歳人口がここ数年で最大の減少幅となった影響によるものですが、この春の高校卒業予定者における共通テスト志願者の割合(現役志願率)は45.2%と高い水準を維持しています。既卒生志願者は年々減少しており、共通テストの志願者全体の85%を現役生が占めています。依然として、現役志向が強いことがわかりますね。



共通テスト志願者数 49.2万人
※大学入試センター資料より

出願傾向・形式は昨年から大きな変化なし

出題傾向をみると、昨年から大きな変化はなく、「思考力・判断力・表現力」を問おうとする各教科・科目の出題方針に則った出題でした。日常の事象を題材とした問題や、授業で学習する場面を想定した問題、複数の資料やデータをもとに考察する問題など、これまでに出题された共通テスト特有の出題傾向は継続しています。日常の事象を題材とした問題を例にとると、「数学I・数学A」で電柱の高さと影の長さを測定する問題が出题されたほか、「現代社会」ではSDGsに関連する問題などが出题されました。これらの問題傾向は、新課程入試となる来年の共通テスト以降でも継続することが想定されます。日頃より、知識を暗記するだけでなく、**知識を活用する力や資料を読み解く力を身につけることを意識するとともに、日常生活や社会の出来事にも目を向けておく**とよいでしょう。



科目別平均点－英語(リーディング)、数学でダウン、国語は10点アップ



<図1>は、河合塾が実施した自己採点集計「共通テストリサーチ」参加者の平均点を集計したものです(昨年の数値はすべて得点調整後のもの)。

科目別にみると、主要教科では「英語(リスニング)」「国語」で平均点がアップした一方、「英語(リーディング)」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」ではダウンしました。「英語(リーディング)」は長文問題の単語数が大きく増加したことや、難しい設問が含まれていたことなどから、得点率8割以上の高得点層が大きく減少しており、高得点を取りづらかった様子がうかがえます。「数学Ⅱ・数学B」では、計算量は減ったものの、論理的な思考力が試される設問が多く、数学が苦手な受験生にとっては解きにくかったようです。「国語」は現代文・古文・漢文すべてで平均点が上昇しました。現代文は正解を選びやすい素直な出題が多かったことや、古文は読みやすい文章だったことなどが要因とみています。

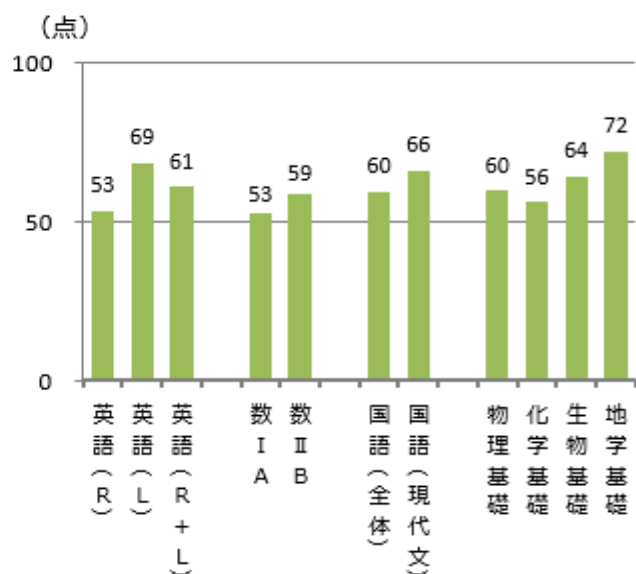
理科では、主に文系生の選択者が多い生物基礎の平均点が32.1点と前年から6.9点アップしました。理科②では、昨年得点調整の対象となった生物が55.4点と化学と並ぶ平均点まで上昇したものの、依然として物理との差は開いています。

地理歴史・公民では、理系生の選択者が多い地理の平均点が上昇した一方、日本史では3.6点ダウンしました。

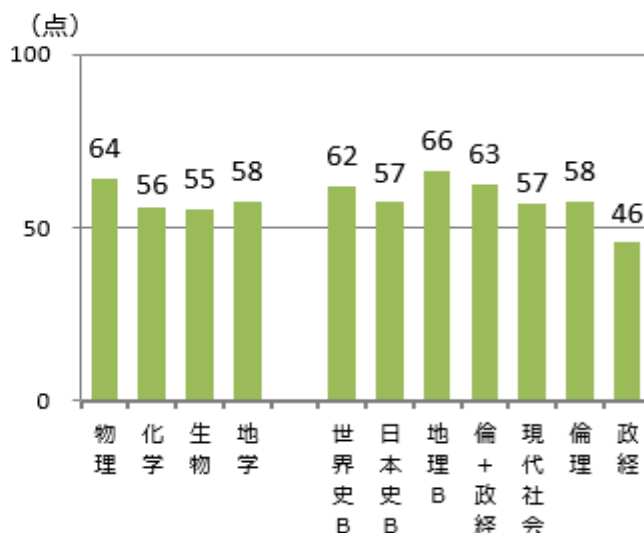
<図1>

教科・科目		昨年	今年	差	
英語	リーディング(R)	56.0	53.4	-2.6	
	リスニング(L)	64.0	68.5	+4.5	
	リーディング+リスニング(R+L)	120.1	122.0	+1.9	
数学	① 数学Ⅰ・数学A	57.2	52.8	-4.4	
	② 数学Ⅱ・数学B	62.5	58.7	-3.8	
国語	全体	108.7	119.1	+10.4	
	現代文	63.3	66.0	+2.7	
理科	①	物理基礎	29.1	29.9	+0.8
		化学基礎	30.1	28.1	-2.0
		生物基礎	25.2	32.1	+6.9
		地学基礎	35.8	36.1	+0.3
	②	物理	64.9	64.2	-0.7
		化学	55.7	55.8	+0.1
		生物	48.3	55.4	+7.1
		地学	50.7	57.6	+6.9
地歴・公民	世界史B	60.2	61.9	+1.7	
	日本史B	61.0	57.4	-3.6	
	地理B	61.1	66.3	+5.2	
	倫理、政治・経済	62.3	62.6	+0.3	
	現代社会	60.4	57.0	-3.4	
	倫理	60.4	57.5	-2.9	
総合	7科目文系型	542.2	547.5	+5.3	
	7科目理系型	561.7	568.9	+7.2	

※7科目文系型：外・数(2科目)・国・理・地公(2科目)
 ※7科目理系型：外・数(2科目)・国・理(2科目)・地公
 ※昨年の平均点は得点調整後の数値



※英語(R+L)、国語(全体)、理科①は100点満点に換算



新課程入試について考える

河合塾 Kei-Net より一部抜粋

2025年度から、新課程入試が始まります。オレンジの部分に変更点がありますが、特に、「情報Ⅰ」は新設される科目なので大きな注目が集まっています。今回は「情報Ⅰ」について、どのような科目なのかを詳しく見ていきたいと思います。

「情報Ⅰ」…情報に関する科学的な見方や考え方を活用して問題の発見や解決を行う学習活動を通じて、情報社会に主体的に参画するための資質と能力を育成する科目です。具体的には以下の4つの分野が問われます。

- ① 情報社会の問題解決
- ② コミュニケーションと情報デザイン
- ③ コンピュータとプログラミング
- ④ 情報通信ネットワークとデータの活用



共通テストの試験科目として話題になったことで、そちらに注目が集まっていますが、「情報Ⅰ」で学ぶことは総合型選抜や学校推薦型選抜の口頭試問やディスカッションにおいても有効です。共通テストの試験科目だから対策する、だけではなく、先々まで有効な力を身につけることができるものとして取り組む姿勢が大事になってくると思います。

「情報Ⅰ」で学ぶことを、授業や高校の枠の中にとどまらせることなく、日常生活にも学習したことを取り入れてみてください。授業で身につけた「情報活用能力」を日常でも活用することで、その力はさらに磨かれ、未来を拓く力として活躍は必ずです。

教科	出題科目	試験時間	配点
地理 歴史	「地理総合,地理探究」 「歴史総合,日本史探究」 「歴史総合,世界史探究」	6科目から 最大2科目 選択 1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)	1科目 100点
	「地理総合/歴史総合/公共」* <small>*いずれか2科目の内容を選択解答</small>		
公民	「公共,倫理」 「公共,政治・経済」	公民2科目の組み合わせ、「地理総合/歴史総合/公共」で選択した科目と同一名称を含む科目の組み合わせ不可	
国語	「国語」 近代以降の文章に1問追加。近代以降の文章3問(110点)、古文1問(45点)、漢文1問(45点)で構成	90分	200点
外国語	「英語」	1科目選択 英語は別時間帯でリスニング試験を実施	200点 ※英語はリーディング100点、リスニング100点 (解答時間30分)
	「ドイツ語」		
	「フランス語」		
	「中国語」		
	「韓国語」		

教科	出題科目	試験時間	配点
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」* <small>*いずれか2科目の内容を選択解答</small>	5科目から 最大2科目 選択 1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)	1科目 100点
	「物理」		
	「化学」		
	「生物」 「地学」		
数学	「数学Ⅰ,数学A」 「数学Ⅰ」	1科目選択	70分 100点
	「数学Ⅱ,数学B,数学C」* <small>*数学B・数学Cについては、各2項目出題のうち3項目を選択解答</small>	1科目のみの出題に。解答問題数が増え、試験時間増	70分 100点
情報	「情報Ⅰ」 新設	60分	100点

今月の名言

All your dreams can come true if you have the courage to pursue them.

「追い求める勇気があれば、すべての夢はかなう」

—by Walt Disney(ウォルト・ディズニー)

